

## 基本目標 2 豊かな文化と心を育むまちづくり

### 後期計画の方向性

町の文化や歴史を大切にしながら、未来を担う子どもたちを地域全体で育むことで、将来につながる人づくりができる町



「僕は東栄町の星空が一番好き。」「私は断然、花祭。」「川遊びもいいよね。」町を見つめる子どもたちの瞳、とっても生き生きと輝いていますね。この輝く瞳は、町の未来を明るく照らしています。

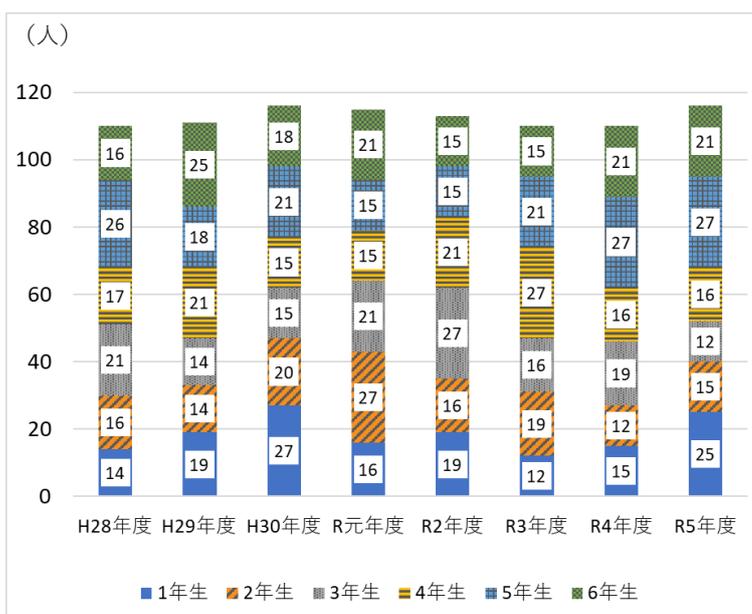
みんなで子どもを育てていこう。子どもと一緒に大人も学ぼう。

現状と課題

【現状】

- ・小・中学校の児童・生徒数は、多少の増減はありますが、おおむね横ばいで推移しています。
- ・学習指導の充実や教職員の質の向上を図るとともに、学校、保護者、地域等と連携した教育が望まれます。
- ・保育園統合によって保育園1園、小学校1校、中学校1校となったことから、それぞれの保育・教育の指針や目標に整合性を持たせて一貫した理念の下で育てる体制が整いました。

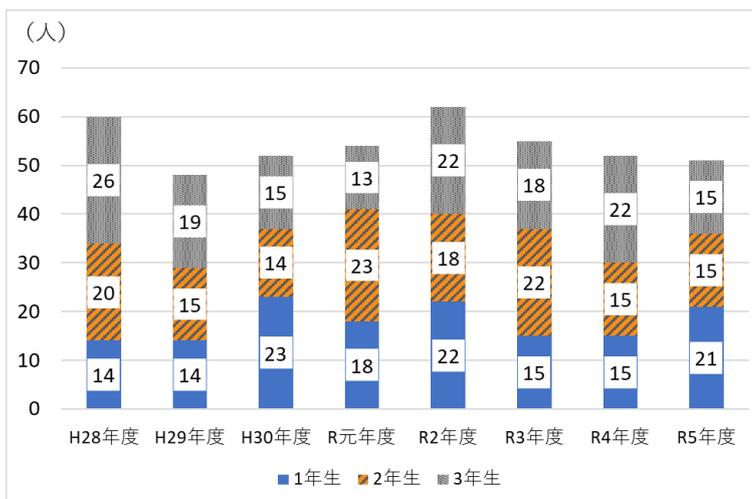
■図表 東栄小学校の児童数推移と見通し 【資料：教育課】



【課題】

- ・教育施設や設備の更新をしていくための財源確保が大きな課題となっています。
- ・町内には高校がなく、町外高校への就学を余儀なくされており、都会と比べ、保護者の経済的負担が大きくなっています。

■図表 東栄中学校の生徒数推移と見通し 【資料：教育課】



## 施策がめざす 将来の姿

- 一人ひとりの良さや可能性を伸ばす教育がされています。
- 時代を見据えた教育内容、教育方法等により多様な学習活動が実施されています。
- 保育園、小学校、中学校の連携が一層進み、とぎれのない保育・教育が行われています。
- 希望に応じて高等教育が受けられる環境が整っています。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
小中学校の一学年の平均児童生徒数(人)	20.9	18.7	16.0～18.0

## 個別施策

### 1 一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進

小規模校としての特性を生かし、一人ひとりに応じた学習指導を行い、基礎学力の向上を図ります。

支援が必要となる児童や生徒に対して、特別支援教育の支援員を配置するなど、きめ細かな教育を行います。

いじめ問題や不登校等の子どもに適切に対応するため、児童・生徒の心に寄り添う相談体制の維持を図ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
特別支援教育支援員の充足度 (%)	100	100	100

具体的な事業の例	主体
特別支援教育支援員の配置	町

## 2 知・徳・体が調和した教育の推進

基礎学力の向上をはじめ、道徳教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、食育、職業体験など、各種教育に力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育を行います。

ふるさと東栄を学び、ふるさと東栄を愛する天地人教育を推進します。

小・中学校へALTを派遣して、英語教育の充実を図るとともに、中学生を海外に派遣してホームステイや交流体験を行うことで、言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚の育成を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
天地人教育の推進	推進	推進	推進

具体的な事業の例	主体
中学生海外派遣事業の実施	町
ふるさとの自然や人を活かした天地人教育の実施	
I C T 教育の実施	

## 3 連携教育の推進

小中学校が各 1 校であるため、教育目標やカリキュラムの共通している部分を協力して行います。また、教育の充実を図るため、保育園と小中学校における教育分野での連携について研究していきます。

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と地域の連携・協働が今まで以上に重要視されていることから、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の設置を目指します。

中高一貫教育を進めている田口高校との連携を密にしていきます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
保小中連携教育の推進	小中学校の連携	保・小・中連携「めざす姿」の策定	保・小・中連携「めざす姿」の推進

具体的な事業の例	主体
保・小・中連携教育研究	学校
保・小・中連携教育の推進	町・保育園・学校・家庭・地域
コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の設置	町・学校・保護者・地域住民等

## 4 食育活動の推進

旬の地元農産物を学校給食に使用したり、郷土料理を献立に取り入れたりすることにより、児童生徒が地域の食文化に触れる機会を作ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
「愛知を食べる学校給食の日」の実施 (回)	3	3	3

具体的な事業の例	主体
食育の日 (19 日) の愛知県産食材による給食	町

## 5 小中学校の施設・設備の充実

教育環境を整えるため、計画的に修繕、工事、備品購入等を行い、小中学校における施設や設備の充実を図ります。

文部科学省が提唱している G I G A スクール構想を推進するため、教育 I C T 環境を整え、その効果的な活用を図ります。令和 2 年度には、児童生徒に一人 1 台ずつタブレットが整備されました。今後も必要な財源を確保しながら更新し、他の地域と格差のない教育環境を維持します。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
児童生徒一人あたりのタブレット保有率 (%)	37.0	41.0	100.0

具体的な事業の例	主体
I C T 教育実施のための一人 1 台タブレットの整備	町

## 6 高校への就学支援

高校への就学を支援するため、引き続き町営バスを運営します。特に、設楽町への乗り入れや、J R 飯田線東栄駅との結節は通学に必要なことから、通学の利便性が確保できるような時刻設定にします。

あわせて、通学費や授業料の一部を補助します。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
高校生通学費補助	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
高校生通学費補助の実施	町
私立高等学校授業料補助の実施	

### 関係する計画等

- 学校施設・社会教育施設・社会体育施設長寿命化計画
- 小中学校 I C T 機器整備計画

現状と課題

【現状】

- ・地域の枠を超えて花祭等の地域行事に参加する子どもおり、地域の貴重な担い手としての期待が大きくなっています。
- ・スポーツや文化活動に関する習い事やサークル活動が多数あり、地域の大人から指導を受ける機会があります。
- ・地域連携教育の推進によって、「子どもは町の宝」として社会全体で支え、育てる仕組みづくりに取り組んでいます。

【課題】

- ・子ども会の解散や家族観の多様化により、子ども達が直接的に地域との関わりを持てる場が減り、以前に比べると世代間や異年齢の子ども達との交流が減っています。

施策がめざす  
将来の姿

- 家庭と地域が一体となり子どもの健全育成を推進できる体制ができています。

目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
小中学校の一学年の平均児童生徒数(人)	20.9	18.7	16.0～18.0

## 個別施策

### 1 家庭教育への支援

働き方や家族のあり方が多様化する中でも、家庭は子どもたちが安心して心健やかに暮らしていける場であることが望まれます。子育ての仕方や、子どもを取り巻く社会は少しずつ変化していきます。また、子どもが成長していく段階によっても、必要な保護者の関わりは変化します。保護者がゆとりをもって子育てができるような情報提供や、必要に応じた相談体制等を整えます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
相談体制周知活動	—	—	実施

具体的な事業の例	主体
家庭教育支援講演会開催	P T A
相談体制チラシ作成	町
様々な職場における働き方改革	町・事業者
子どもとともに取り組む健康マイレージ事業等の実施	町民・町

### 2 子どもの居場所づくり

町でも近年、親や祖父母の就労等により一人で遊ぶ子どもが多く見られるようになりました。子どもは遊びを通じて仲間関係の形成や社会性の発達などを育てていくことから、子どもが自主的に遊べ、安全に過ごす場所の確保が必要です。仲間と楽しく、安全に遊べる放課後児童クラブの活動を推進していきます。

小学校の放課後や長期休暇等において、児童が安心して過ごせるようボランティアによる体験指導を行うなど、放課後児童クラブの内容の充実を図ります。

あわせて、子どもと高齢者が、家族の垣根を越えてふれあい、また、子どもが高齢者から学ぶ機会を創出することで、地域一体となった子育てと郷土を愛する意識の醸成を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
放課後児童クラブの運営	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
放課後児童クラブ運営及び活動の充実	町
おいでん家等における高齢者と小学生の交流活動	小学校・おいでん家



現状と課題

【現状】

- ・ 体育協会に加盟しているスポーツ団体の登録者数は減少傾向にありますが、スポーツ活動は各団体ともに活発に行われています。

【課題】

- ・ 生涯学習では、生涯を通じて学び成長する機会に対するニーズは多様化していますが、講師の確保が困難であるため、住民ニーズに対して十分な講座の開講ができていません。
- ・ 総合社会教育文化施設では、利用者数の減少と共に収益も減少しています。ハード面では、各施設の老朽化が目立っており、花祭会館の耐震性も課題となっています。

■ 図表 各施設の利用者数推移

(人)

施設名		分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
東栄グリーンハウス		利用者数	7,725	8,968	8,170	9,426	8,483
		うち宿泊者	4,334	4,543	4,427	4,918	4,196
花祭会館		利用者数	3,381	4,124	3,152	2,423	2,276
		見学者	790	1,143	989	874	733
民芸館・博物館		利用者数	358	633	374	422	301
		見学者	106	465	464	199	114
体育施設	グラウンド	利用者数	10,654	16,502	26,291	36,458	18,825
	弓道場	利用者数	1,817	1,292	1,301	1,279	1,216
	テニスコート	利用者数	790	475	959	480	491
	野球場	利用者数	5,196	5,170	7,754	2,336	1,357
	東栄ドーム	利用者数	23,524	22,813	33,264	39,961	23,853
	B & G 体育館	利用者数	5,242	4,559	4,112	2,837	3,827
	B & G プール	利用者数	2,591	2,581	2,495	1,923	2,153
森林体験交流センター		利用者数	6,474	6,933	5,196	4,430	3,959
		うち宿泊者	3,169	3,405	2,621	2,111	2,007

【資料：教育課】

## 施策がめざす 将来の姿

- 町民が生涯を通して自主的に学習できる機会が充実しています。
- 町民がスポーツを通じて、体力や健康の維持に取り組んでいます。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成 26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和 7)年度
参加者アンケートによる生涯学習の満足度(%)	76.4	76.7	80.0

## 個別施策

### 1 生涯学習の充実

多様な学習ニーズに対応するため、民間の人材やノウハウの活用を図るとともに、地元の学校や東三河管内の生涯学習実施機関との連携などにより、各種講座の充実を図ります。

中学生を対象とした公営塾を放課後や休日に開設し、学力の底上げを行います。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
参加者アンケートによる生涯学習の満足度(%)	76.4	76.7	80.0

具体的な事業の例	主体
生涯学習講座の推進	町・町民
地域未来塾の実施	町

## 2 スポーツ活動の充実

子どもから高齢者まで誰もが楽しむことができ、積極的に取り組むことができるスポーツ活動の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。

あわせて、小中学校における体育指導会及び部活動のあり方が変化中、今後は地域におけるスポーツ活動の重要度がさらに増すことが見込まれます。コミュニティ・スクールとも連携し、団体における人材確保に取り組めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
スポーツ団体の会員数（人）	754	553	500

具体的な事業の例	主体
スポーツ団体活動と活動への支援	町・各団体・町民

## 3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進

生涯学習や生涯スポーツに引き続き取り組めるよう、社会教育施設、社会体育施設のうち、改修・修繕等が必要な施設については、改修計画を策定し、緊急度に応じて改修・修繕等を行います。

東栄グリーンハウスや森林体験交流センター等については、町内外の人が利用している施設です。引き続き多くの人に活用してもらえよう、利用促進を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
体育施設の延べ利用者数（人）	45,232	51,722	52,000

※ここでは、生涯学習教室や生涯スポーツを促進する施設として、体育施設に焦点を当て重要業績指標に設定しています。

具体的な事業の例	主体
継続的な施設管理	町

現状と課題

【現状】

- ・町の文化を保存・継承していくため、民具や古文書などの有形文化財の保管や保全によって散逸防止を図っています。
- ・花祭の保存伝承のため、花祭会館の展示内容や展示方法の見直しを行うとともに、映像等をデジタル化しています。

【課題】

- ・人口の減少により、地域活動の担い手が減る中、花祭やシカウチ行事といった民俗芸能の保存・伝承を担う後継者が不足しています。

■図表 指定等文化財件数（令和2年3月31日現在）

種 別		国指定	県指定	市町村指定	国登録		
有形文化財	建 造 物			4			
	美術工芸品	絵 画					
		彫 刻		1	5		
		工 芸 品			14		
		書跡典籍古文書			23		
		考 古 資 料					
		歴 史 資 料					
文化財 無形	芸 能						
	工 芸 技 術						
文化財 民俗	有形民俗文化財		2	4	1		
	無形民俗文化財	1	1	8			
記念物	史 跡	名 勝		1	24		
					5		
	念 物	天 然 記 念 物	動 物				
			植 物		2	10	
			地質・鉱物		1	2	
伝統的建造物群							
文化的景観							
合 計		1	8	99	1		

【資料：教育課】

## 施策がめざす 将来の姿

- 花祭やシカウチ行事などの伝統文化が伝承されています。
- 文化財等を通じ、町民が町の歴史を知り、故郷の価値を実感できています。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
無形民俗文化財の保存会団体数 (団体)	11	11	11

## 個別施策

### 1 伝統文化の継承

各地域に伝わるお祭りや伝統芸能は、地域の保存会等によって継承されています。人口減少により地域での担い手確保が困難となる中、地域が望む形で継承できるようにしていく必要があります。そのため、伝統文化の継承につながるよう、各保存団体が抱える課題の共有や解決のための工夫などについて、お互いに意見交換ができる環境を整えます。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
無形民俗文化財保存団体等 意見交換実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
定期的な保存会等との意見交換	町・保存会
活動支援のための補助金等情報提供	町

## 2 文化財の保存・継承環境づくり

町民に地域の歴史や文化に対する認識を促し、愛護意識を高めるため、町内に存在する文化財のPRを強化するとともに、文化財を活用した学習講座の開催など、貴重な文化遺産の周知に努めます。また、文化財を保存・展示する環境整備を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
文化財のPR活動	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
文化協会の活動促進	町・文化協会
文化財の展示や広報誌などを活用した周知活動	町



現状と課題

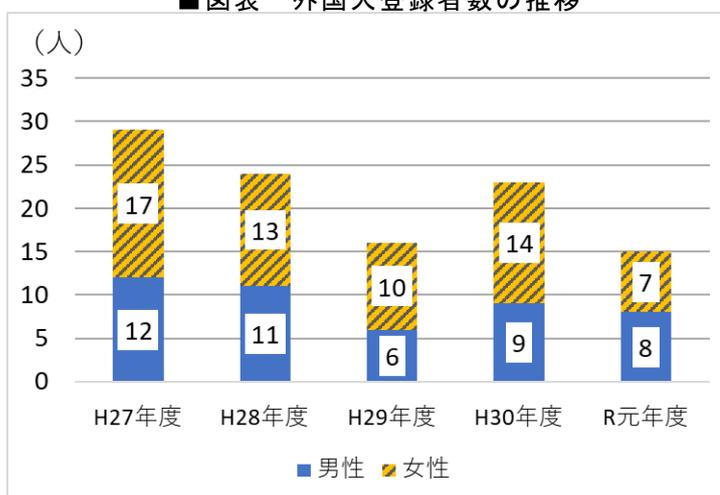
【現状】

- ・性別や年齢、国籍に関係なく誰もが互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会が求められます。
- ・次世代を担う子どもたちの国際理解を深めるため、中学生の海外派遣を行っています。

【課題】

- ・本町で暮らす外国人は、今後は増加することが予想されるとともに、本町を訪れる外国人が増加することも期待され、より外国の方が暮らしやすく、また訪れやすい環境づくりが望まれます。さらに、引き続き、中学生の海外派遣を行い、これらを通じて国際交流や国際理解を推進する多文化共生の社会づくりを目指していく必要があります。

■ 図表 外国人登録者数の推移



【資料：住民福祉課】

施策がめざす 将来の姿

- 差別や偏見がなく、誰もが暮らしやすい地域社会が形成されています。
- 国際交流などを通じ、暮らしの多様性への理解が深まっています。

目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
国際交流に取り組む団体数	1	1	1

## 個別施策

### 1 人権尊重の推進

人権に関する広報活動や人権学習等を通じて差別等の無い地域社会づくりに向け、人権擁護委員による相談等を実施します。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
小中学校における人権学習の実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
小中学校における人権学習の実施	県・小中学校・町

### 2 国際交流を通じた多様性への理解

町民の国際理解を深めるため、国際理解教育の充実や異文化の体験、外国人とふれあう機会などによって、国際感覚を身につけた人材を育成します。

あわせて、文化や暮らしの多様性についての理解を深めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
中学生の海外派遣事業の実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
外国人や異文化との交流事業	国際交流協会・町